第4章 Windows2000/NT4.0 編

■この章でおこなうこと

Windows2000/NT4.0を搭載した無線LANパソコンを使って、無線 LAN ー有線 LAN 間で通信するための設定をおこないます。

Windows2000/NT4.0 作業の流れ

無線 LAN パソコンと有線 LAN パソコン間で通信する手順は、以下の通りです。

AirStation を使えるようにします	97 ページ～
Step 1	設定用パソコンに無線 LAN カードを取り付け、ドライバをインストールします。
Step 2	ネットワーク接続のための仮設定として、設定用パソコンに TCP/IP の設定をします。
Step 3	AirStation の設定をおこなうため、設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールします。
Step 4	AirStation の設定をします。

無線 LAN を使えるようにします	127 ページ～
Step 5	無線 LAN を使うすべてのパソコンに無線 LAN カードを取り付け、ドライバをインストールします。
Step 6	無線 LAN を使うすべてのパソコンからネットワークに接続するために、TCP/IP の設定をします。
Step 7	無線 LAN を使うすべてのパソコンに AirStation の設定をおこなうため、クライアントマネージャをインストールします。
Step 8	設定用パソコンの設定情報ファイルを利用して、無線 LAN を使うすべてのパソコンに AirStation の設定をします。

ネットワークを使えるようにします	139 ページ～
Step 9	ネットワーク通信をします。

メモ　このマニュアルは、新規にネットワーク環境を構築することを前提に説明しています。すでに TCP/IP で有線ネットワークを構築している場合は、「**Step 3**　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」（P120）へ進んでください。

4.1 AirStationを使えるようにします

ここでは、1台のパソコンを設定用パソコンとして使い、AirStationに対してさまざまな設定をおこないます。

Step 1 設定用パソコンにLANボード／カードのドライバをインストールする

AirStation を機能させるには、パソコンを使ってさまざまな設定をおこなう必要があります。本書では、このパソコンを《設定用パソコン》と表記しています。

最初のステップでは、《設定用パソコン》に搭載された LAN ボード／カードに、ドライバをインストールします。

⚠注意 このマニュアルは、WLI-PCM-L11G（無線LANカード）をパソコンに取り付けた場合を想定して説明しています。
WLI-PCM-L11G 以外の無線 LAN カード／アダプタをパソコンに取り付けている方は、無線 LANカード／アダプタのマニュアルを参照してドライバをインストールしてください。
ドライバのインストールには「AIRCONNECT シリーズドライバCD」を使用します。但し、複数の「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」をお持ちの場合、最新バージョンのものをお使いください。

有線LANパソコンから設定をおこなう場合：

LANボード／カードのドライバをインストールしてください。ドライバのインストール方法については、お使いのLANボード／カードのマニュアルを参照してください。ドライバのインストールが完了したら、「Step 2 設定用パソコンにネットワーク接続のための仮設定をする（TCP/IPの設定）」（P114）へ進んでください。

無線LANパソコンから設定をおこなう場合：

最新バージョンの「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使って、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。ドライバのインストール方法については、「Step 1-1 無線 LAN カードを取り付ける前の確認事項」（P98）～「Step 1-4 Windows2000：インストール後の確認」（P105）を参照してください。
ドライバのインストールが完了したら、「Step 2 設定用パソコンにネットワーク接続のための仮設定をする（TCP/IPの設定）」（P114）へ進んでください。

メモ **バスアダプタ（WLI-ISA-OPまたはWLI-PCI-OP）をお使いの方へ**
無線LANカード（WLI-PCM-L11G等）を取り付ける前に、WLI-ISA-OPまたWLI-PCI-OP（以後バスアダプタと表記）の取り付けとバスアダプタのドライバをインストールする必要があります。
インストール手順は、バスアダプタに添付のマニュアルを参照してください。

Step 1-1 無線 LAN カードを取り付ける前の確認事項

《設定用パソコン》のドライブ構成を次の手順で確認してください。

Windows2000 を例に説明します。

1 デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

2

［表示］メニューから［詳細］を選択します。

表示されるドライブ名を確認します。

ここで表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

お使いのパソコンのドライブ構成は？

ドライブの種類	アイコン	上記の画面例	お使いのパソコン
3.5 インチフロッピーディスク		A:	
ハードディスク（ローカルディスク）		C:	
CD-ROM		D:	

PC カードドライバの確認

《設定用パソコン》に PC カードドライバが正しくインストールされていることを確認します。

⚠注意
- 無線 LAN カードは、Windows2000/NT4.0 の PC カードドライバが正常に動作しない機種には、対応していません。
- WindowsNT4.0 は、活線挿抜、レジューム機能には対応していません。

Windows2000 の場合：

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［システム］アイコンを、ダブルクリックします。

3 ［ハードウェア］タブをクリックします。
［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

4 ［PCMCIA アダプタ］の下に表示されるアイコンに、″×″または″！″が付いていないことを確認します。

″×″または″！″が付いていなければ、PC カードドライバが正しくインストールされています。次のステップへ進んでください。

メモ
- 画面に表示される PCMCIA コントローラの名称は、パソコンの機種によって異なります。
- ″×″または″！″が付いているときは、パソコンのメーカにお問い合わせください。

注意 WLI-PCI-OP を Windows2000 でお使いになる場合
WLI-PCI-OP のドライバは、標準で組み込まれる「Ricoh R/RL/RT/RC/5C475(Ⅱ), R5C520 or Compatible CardBus Controller 」ではなく「BUFFALO WLI-PCI-OP PCI Bridge 」を使用する必要があります。WLI-PCI-OP のドライバをインストールするときは、添付 CD-ROM 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD 」のヘルプを参照して、おこなってください。

添付 AIRCONNECT シリーズドライバ CD のヘルプ表示方法
1 添付 AIRCONNECT シリーズドライバ CD を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
簡単導入ウィザードが自動的に起動されます。
ウィザードが自動的に起動しない場合は、［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択し、「D:¥wleasy.exe 」と入力して（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）［OK ］をクリックします。
2 ヘルプメニューの「無線 LAN ドライバのインストール手順」を選択し、［次へ］をクリックします。
3 お使いの WEB ブラウザのパスが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。
WEB ブラウザが起動され、無線 LAN ドライバのインストール方法についてのヘルプが表示されます。
4 ［PCI アダプタ（WLI-PCI-OP ）］をクリックします。
5 PCI アダプタの設定方法が表示されたら、［Windows2000 の場合］をクリックします。
6 該当する設定手順が表示されますので、その内容に従ってドライバをインストールします。

Windows NT4.0 の場合：

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［デバイス］アイコンを、ダブルクリックします。

3 ［Pcmcia］の「状態」が「開始」になっていることを確認します。

「開始」になっていれば、PC カードドライバが正しくインストールされています。次のステップへ進んでください。

Step 1 -2 無線 LAN カードの取り付け

⚠注意 パワーマネジメント（未使用状態が一定時間続くとパソコンの電源供給を停止する）機能がついているパソコンの場合は、パワーマネジメント機能の設定を OFF にしてください。パワーマネジメント機能が働くと、無線 LAN カードが使用できません。
パワーマネージメント機能については、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

⚠注意 取り付け時の注意

- パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、それぞれ付属のマニュアルに記載されている方法でおこなってください。
- 各種コネクタのチリ、ホコリなどは取り除いてください。
- 無線 LAN カードのコネクタ部分には手を触れないでください。
- 無線 LAN カードをパソコンに取り付けるときコネクタの向きに注意してください。無理に押し込むとコネクタが破損する恐れがあります。

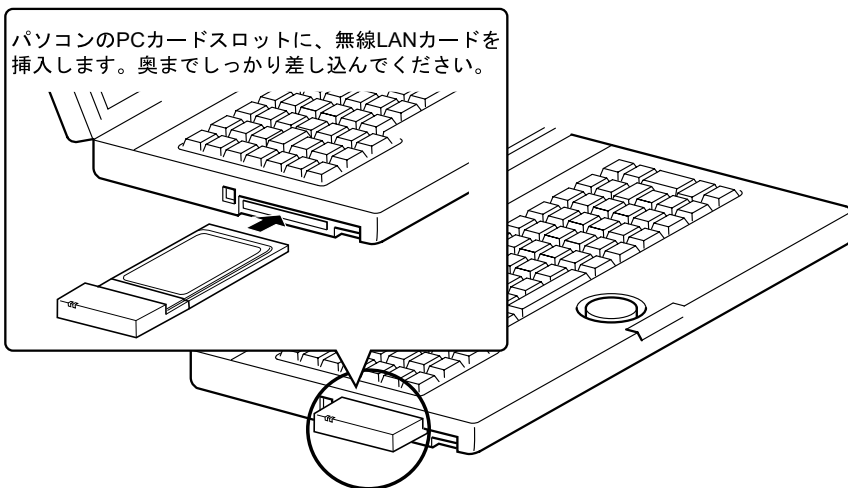
⚠注意 取り外し時の注意

- 無線 LAN カードは、Windows2000 の場合は、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しが行える「活線挿抜」に対応しています。ただし、無線 LAN カードを取り外すときは、Windows2000 上で取り外しができる状態にする必要があります。詳しくは、「ノートパソコン／デスクトップパソコンからの取り外し」（P105）を参照してください。
- 無線 LAN カードは、WindowsNT4.0 の場合は、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しができる「活線挿抜」に対応していません。WindowsNT4.0 で無線 LAN カードを取り外すときは、パソコンの電源を OFF にしてください。

ノートパソコンへの取り付け

無線 LAN カードをノートパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

メモ

- Windows2000 は、「活線挿抜」に対応しているため、パソコンの電源が ON の状態のままで、無線 LAN カードを取り付けることができます。
- WindowsNT4.0 は、「活線挿抜」に対応していないため、パソコンの電源が OFF の状態で無線 LAN カードを取り付けます。

⚠注意 PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いの方へ

無線 LAN カードは、アンテナ内蔵部分が突き出ています。

そのため、PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンで、下側の PC カードスロットに無線 LAN カードを装着すると、上側の PC カードスロットに他の PC カードが装着できなくなることがあります。

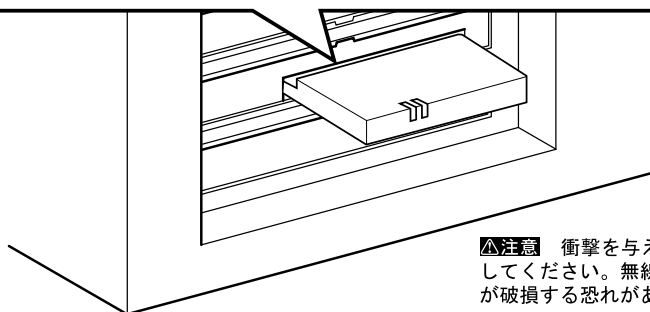
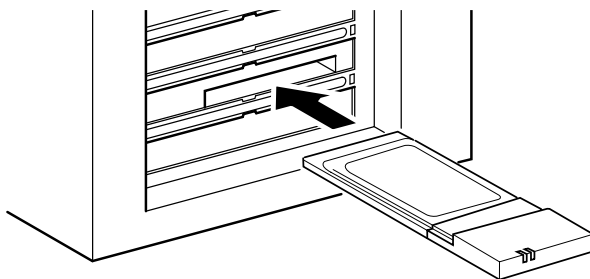
そのときは、無線 LAN カードを上側の PC カードスロットに装着してください。

デスクトップパソコンへの取り付け

無線LANカードをPCカードスロットのないデスクトップパソコンに取り付けるときは、以下のいずれかのボードをあらかじめ、デスクトップパソコンに取り付けておく必要があります。

・ISAバスアダプタ（WLI-ISA-OP）　・PCIバスアダプタ（WLI-PCI-OP）

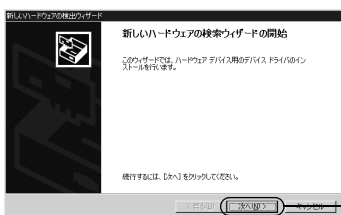
▶参照　取り付け方法は、各製品付属のマニュアルを参照してください。

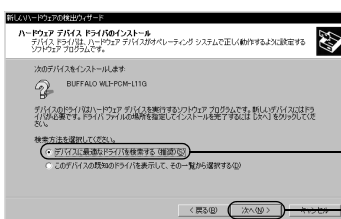
無線LANカードをデスクトップパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

Step 1 -3 Windows2000：無線 LAN カードのドライバをインストールする

WindowsNT4.0 の場合は、「Step 1 -3 WindowsNT4.0：無線 LAN カードのドライバをインストールする」（P107）へ進んでください。

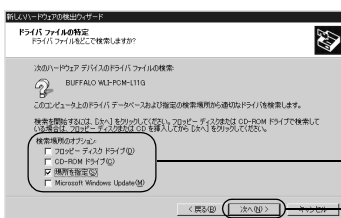
⚠注意　パソコンに無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。

1　Windows2000 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

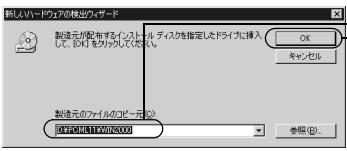
2　無線 LAN カードが認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

1 クリック　［次へ］ボタンをクリックします。

3

1 選択　無線 LAN カードが「BUFFALO WLI-PCM-L11G」として認識されたら、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

2 クリック　［次へ］ボタンをクリックします。

4

1 選択　「検索場所のオプション」を以下のように選択します。

フロッピーディスクドライブ：
　チェックしません
CD-ROM ドライブ：
　チェックしません
場所を指定：
　チェックします

2 クリック　［次へ］ボタンをクリックします。

⇒ 次ページへ続く

5 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⚠注意 AIRCONNECT シリーズドライバ CD は、必ずバージョン 1.50 以降の最新のものを使用してください。

⚠注意 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に簡単導入ウィザードの画面が表示されることがあります。表示されたときは、[キャンセル] をクリックした後、[中止] をクリックしてください。画面が閉じます。

6

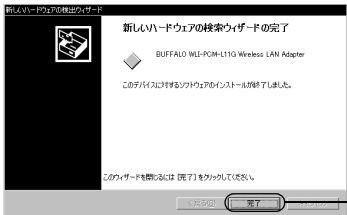
1 入力 「製造元のファイルのコピー元」に、(CD-ROM ドライブが D の場合)「D:¥PCML11¥WIN2000」と入力します。

2 クリック [OK] をクリックします。

7

1 確認 「d:¥pcml11¥win2000¥netl112k.inf」と表示されていることを確認しま

2 クリック [次へ] をクリックします。

8

1 クリック 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」と表示されたら、[はい] をクリックします。

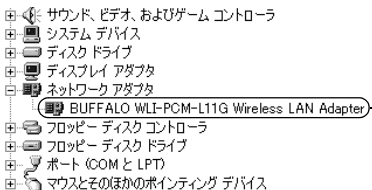
「Windows で正しく動作することは保証されません。」と表示されますが、動作確認は弊社でおこなっております。
そのまま、[はい] をクリックして、インストールを続行してください。

9

1 クリック [完了] をクリックします。

これで、ドライバのインストールは完了です。

続いて、次のステップへ進み、無線 LAN カードが正常に動作していることを確認します。

Step 1 -4 Windows2000: インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、以下の手順に従って、無線 LAN カードが正常にインストールされていることを確認します。

1 ［スタート］ー［設定］ー［コントロールパネル］を選択します。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックします。

3

［ハードウェア］タブをクリックします。

［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

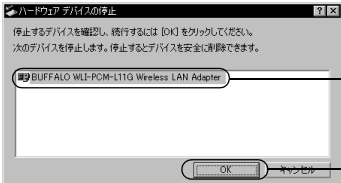
4

1 確認 ［ネットワークアダプタ］の下に、「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」と表示されていることを確認します。

無線 LAN カードは正常に動作しています。

次は、「Step 2 設定用パソコンにネットワーク接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）」(P114) へ進みます。

メモ **ノートパソコン／デスクトップパソコンからの取り外し**

Windows2000 の動作中に無線 LAN カードを取り外すときは、以下の手順に従ってください。

クライアントマネージャが起動している場合、無線 LAN カードの取り外しはできません。
無線 LAN カードを取り外す場合は、クライアントマネージャを終了してからおこなってください。

⇒ 次ページへ続く

1　タスクトレイにある「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンを、ダブルクリックします。

2

3

4「'BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter' は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されます。

5　無線 LAN カードを取り外します。

メモ　無線 LAN カードのドライバを削除する場合は、以下の手順をおこないます。

インストールしたドライバを削除する

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
2 ［システム］アイコンをダブルクリックします。
3 ［ハードウェア］タブをクリックします。
4 ［デバイスマネージャ］をクリックします。
5 ［ネットワークアダプタ］アイコンをダブルクリックします。
6 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」を右クリックして、［削除］を選択します。
7 「デバイス削除の確認」が表示されたら、［OK］をクリックします。
次に、¥WINDOWS¥INF フォルダにコピーされた INF ファイルと PNF ファイルを削除します。
8 ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］を選択して、エクスプローラを起動します。
9 ［ツール］－［フォルダオプション］を選択します。

10 [表示] タブをクリックします。
11 [すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択して、[OK] をクリックします。
12 Windows2000 がインストールされたドライブの中の、WINDOWS ≠ INF フォルダの中にある OEM?.INF ファイル（OEM0.INF、OEM1.INF など「?」には数字が入ります）をダブルクリックして開き、「WLI-PCM-L11G」という文字が入っているファイルを探します。
13「WLI-PCM-L11G」という文字が OEM?.INF ファイルに入っていたら、このファイルと OEM?.PNF（「?」は同じ数字）が無線 LAN カードのドライバです。OEM?.INF ファイルと OEM?.PNF ファイルを削除してください。

Step 1 -3 WindowsNT4.0: 無線LANカードのドライバをインストールする

無線 LAN カードのドライバのインストール手順は、パソコンの環境によって異なります。以下のうち、あてはまるケースに従って、作業を進めてください。

WindowsNT4.0 がセットアップ済みの場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいるときは、お使いのパソコンに初めてドライバをインストールするかどうかでドライバのインストール方法が異なります。

・ お使いのパソコンに、初めてドライバをインストールするときは、
「初めてドライバをインストールする場合」(P108) へ進みます。
・ お使いのパソコンに、一度でもドライバをインストールしたことがあるときは、(弊社または、他社の LAN カードを使用したことがあるパソコンの場合)
「一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合」(P111) へ進みます。

WindowsNT4.0 をこれからセットアップするとき

WindowsNT4.0 をセットアップする途中でドライバも一緒にインストールするときは、以下の項目を参照してください。セットアップの手順については、WindowsNT に付属のマニュアルを参照してください。

・ ドライバの選択
ドライバ名称は、「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」を指定してください。

メモ **ドライバの指定方法は、「初めてドライバをインストールする場合」(P108) の手順 6 から 11 を参照してください。**

・ 本製品の設定
現在の本製品の設定（IRQ、I/O ベースアドレス）の内容を確認して、[OK] をクリックしてください。

⚠注意 パソコンに無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。

4
Windows2000/NT4.0編

■ 初めてドライバをインストールする場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいて、初めてドライバをインストールする場合は、次の手順に従ってください。

1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

4 「WindowsNT ネットワークがインストールされていません」と表示されたら［はい］をクリックします。

この画面が表示されないときは、「一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合」（P111）の手順 4 へ進んでください。

5 「ネットワークに接続」を選択します。
［次へ］をクリックします。

6 ［一覧から選択］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⚠注意 AIRCONNECT シリーズドライバ CD は、必ずバージョン 1.50 以降の最新のものを使用してください。

⚠注意 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に簡単導入ウィザードの画面が表示されることがあります。表示されたときは、［キャンセル］をクリックした後、［中止］をクリックしてください。画面が閉じます。

9 （CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥PCML11¥WINNT」と入力します。［OK］をクリックします。

10 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」が表示されていることを確認します。
［OK］をクリックします。

11 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」にチェックしてあることを確認します。
［次へ］をクリックします。

12 ネットワークで使用する「ネットワークプロトコル」を選択します。
[次へ] をクリックします。

13 「次の一覧には、システムによってインストールされるサービスが示されています」と表示されたら、[次へ] をクリックします。

14 [次へ] をクリックします。

15 「いくつかの WindowsNT ファイルをコピーする必要があります。」と表示されたら、「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。
WindowsNT の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

16 （CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥I386」を入力します。
[続行] をクリックします。

PC-9821 シリーズの場合は、(CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:¥PC98」と入力します。

17 「WLI-PCM-L11G の設定」画面が表示されたら、以下の設定になっていることを確認します。
無線チャンネル：
　「14」に設定します。
アクセスポイント経由通信：
　チェックを消した状態にします。
WLI-PCI-L11 モード：
　WLI-PCM-L11/WLI-PCM-L11G を WLI-PCI-OP に取り付ける場合は、チェックをつけます。
[OK] をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

⚠注意
- その他の設定は、変更しないでください。
- 「この IRQ（I/O ベースアドレス）の競合を検出しました。別の IRQ（I/O ベースアドレス）を選択してください。」と表示された場合は、以下の手順をおこなって、重複しない値に変更してください。

IRQ、I/O ベースアドレスの変更

1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。
2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
4 ［アダプタ］タブをクリックします。
「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」を選択します。
［プロパティ］をクリックします。
5 「アダプタ」タブをクリックします。
現在の本製品の設定（IRQ、I/O ベースアドレス）が表示されます。
必要に応じて各リソースの値を変更します。
［OK］をクリックします。

⚠注意 IRQ、I/O ベースアドレスの設定以外は変更しないでください。

6 パソコンを再起動します。
パソコンを再起動すると、変更した設定が有効になります。

これで、ドライバのインストールは完了です。

続いて、「Step 1-4 WindowsNT4.0：インストール後の確認」（P113）へ進み、無線 LAN カードが正常に動作していることを確認します。

■ 一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合

WindowsNT4.0 のセットアップが済んでいて、一度でも LAN カードのドライバをインストールしたことがある場合は、次の手順に従ってください。

1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

4 ［アダプタ］タブをクリックします。
［追加］をクリックします。

5 ［ディスク使用］をクリックします。

6 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⚠注意 AIRCONNECT シリーズドライバ CD は、必ずバージョン 1.50 以降の最新のものを使用してください。

⚠注意 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に簡単導入ウィザードの画面が表示されることがあります。表示されたときは、［キャンセル］をクリックした後、［中止］をクリックしてください。画面が閉じます。

7 （CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）「D:¥PCML11¥WINNT」と入力します。
［OK］をクリックします。

8 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」が表示されていることを確認します。
［OK］をクリックします。

9 「WLI-PCM-L11G の設定」画面が表示されたら、以下の設定になっていることを確認します。

無線チャンネル	:「14」に設定します。
アクセスポイント経由通信	: チェックを消した状態にします。
WLI-PCI-L11 モード	: WLI-PCM-L11/WLI-PCM-L11G を WLI-PCI-OP に取り付ける場合は、チェックをつけます。

［OK］をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4
Windows2000/NT4.0編

⚠注意
・ その他の設定は、変更しないでください。
・「この IRQ（I/O ベースアドレス）の競合を検出しました。別の IRQ（I/O ベースアドレス）を選択してください。」と表示された場合は、以下の手順をおこなって、重複しない値に変更してください。

IRQ、I/O ベースアドレスの変更

1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限を持ったログイン名（Administrator 等）で、ログインします。
2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
4 ［アダプタ］タブをクリックします。
「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」を選択します。
［プロパティ］をクリックします。
5 「アダプタ」タブをクリックします。
現在の本製品の設定（IRQ、I/O ベースアドレス）が表示されます。
必要に応じて各リソースの値を変更します。
［OK］をクリックします。

⚠注意 IRQ、I/O ベースアドレスの設定以外は変更しないでください。

6 パソコンを再起動します。
パソコンを再起動すると、変更した設定が有効になります。

10 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」が追加されたことを確認します。
［閉じる］をクリックします。

これで、ドライバのインストールは完了です。

続いて、次のステップへ進み、無線 LAN カードが正常に動作していることを確認します。

Step 1 -4 WindowsNT4.0: インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、WindowsNT 標準の WindowsNT 診断プログラムを使って、無線 LAN カードが正常にインストールされていることを確認します。

1 ［スタート］－［プログラム］－［管理ツール］－［WindowsNT　診断プログラム］を選択します。

2 ［リソース］タブをクリックします。

3 ［デバイス］をクリックします。

4 ［デバイスの一覧］から［WLIL11G］を選択します。
［プロパティ］をクリックします。

5 「I/O 範囲」、「割り込み要求」が表示されていることを確認します。
[OK] をクリックします。

無線 LAN カードは正常にインストールされています。

メモ 値が表示されないときやデバイスの一覧に［WLIL11G］が表示されない場合は、リソースの設定を変更してください。また、無線 LAN カードが正しく取り付けられていることを確認してください。

メモ 無線 LAN カードのドライバを削除する場合は、以下の手順をおこないます。
インストールしたドライバを削除する
1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。
3 ［アダプタ］タブをクリックします。
4 「BUFFALO WLI-PCM-L11G Wireless LAN Adapter」を選択し、[削除］をクリックします。
5 「この操作はコンポーネントをシステムから削除します」と表示されたら、[はい］をクリックします。
6 ［閉じる］をクリックします。
7 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。

メモ WindowsNT4.0 の動作中に無線 LAN カードを取り外さないでください。必ず電源が OFF の状態で取り外します。

Step 2 設定用パソコンにネットワーク接続のための仮設定をする（TCP/IP の設定）

AirStation の設定をおこなうために、《設定用パソコン》に仮の IP アドレスを設定します。

メモ　IP アドレスは、AirStation の設定が完了した後、AirStation から自動的に割り当てられる設定に変更します。詳細は「Step 6　無線 LAN を使うパソコンにネットワークへ接続するための設定をする（TCP/IP の設定）」（P128）を参照してください。

注意　IP アドレスの設定方法は、Windows2000 と WindowsNT4.0 では異なりますので、ご注意ください。

■ Windows2000：IP アドレスの設定

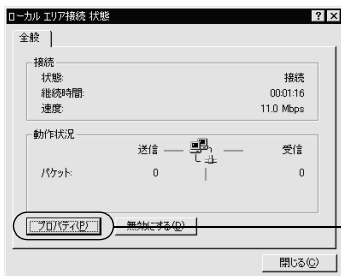
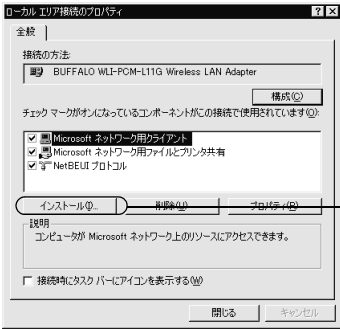
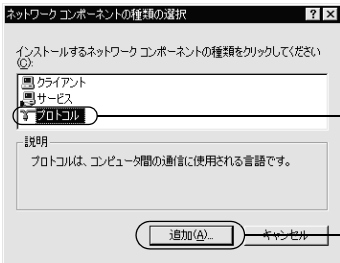
1 パソコンを起動します。
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

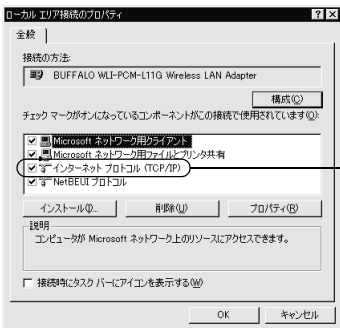
2 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

3 ［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリックします。

4

［プロパティ］をクリックします。

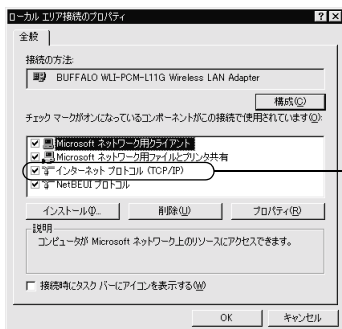
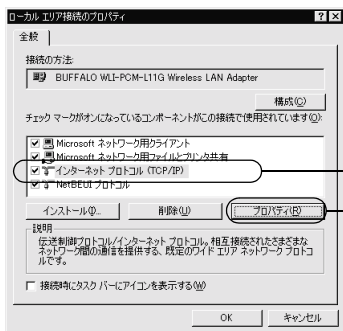
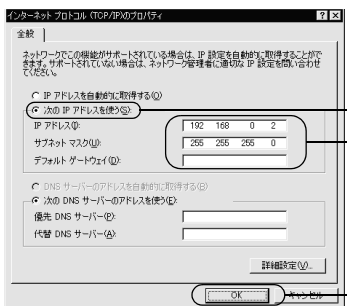
5

「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されていることを確認します。

⚠注意 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されないときは、次の手順をおこなって、インターネットプロトコル（TCP/IP）を追加してください。

⇒ 次ページへ続く

6

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

[プロパティ]をクリックします。

7

「次のIPアドレスを使う」を選択します。

以下の値を入力します。

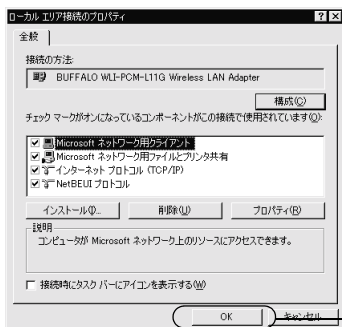
IPアドレス:192.168.0.2
サブネットマスク:255.255.255.0

[OK]をクリックします。

すでにTCP/IPプロトコルでLANを構築しているときは、同じネットワークのIPアドレスを入力してください。

メモ 現在、TCP/IPプロトコルでLANが構築されているかどうかは、以下の手順で確認できます。

1 [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。
2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力して、<ENTER>キーを押します。
3 「IP Address」欄が次のように表示されているときは、TCP/IPプロトコルでLANは構築されていません。
・「0.0.0.0」と表示されている。
・「169.254.X.X」と表示されている。(Xは0~255までの数字です)

8

［OK］をクリックします。

9

1クリック

［閉じる］をクリックします。

これで、Windows2000 での IP アドレスの設定は完了です。

次は、「**Step 3**　設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする」（P120）へ進みます。

■ WindowsNT4.0：IP アドレスの設定

1 パソコンを起動します。
アドミニストレータ権限を持つログイン名（Administrator 等）でログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

⇒ 次ページへ続く

4

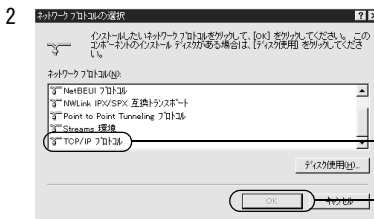
1 クリック ［プロトコル］タブをクリックします。

2 確認 ［ネットワークプロトコル］欄に、「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。

⚠注意 「TCP/IP プロトコル」が表示されないときは、次の手順をおこなって、TCP/IP プロトコルを追加してください。

1

1 クリック ［追加］をクリックします。

2

1 選択 「TCP/IP プロトコル」を選択します。

2 クリック ［OK］をクリックします。

3

1 確認 「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。

5

6

すでに TCP/IP プロトコルで LAN を構築しているときは、ネットワーク管理者に確認して IP アドレスの設定をおこなってください。

メモ　現在、TCP/IP プロトコルで LAN が構築されているかどうかは、以下の手順で確認できます。

1 [スタート] ー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンドプロンプト] を選択します。
2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力して、<ENTER> キーを押します。
3 「IP Address」欄が次のように表示されているときは、TCP/IP プロトコルで LAN は構築されていません。
・「0.0.0.0」と表示されている。

WindowsNT4.0 が再起動されます。

これで、WindowsNT4.0 での IP アドレスの設定は完了です。

Step 3 設定用パソコンにエアステーションマネージャをインストールする

AirStation を管理するためのエアステーションマネージャを《設定用パソコン》にインストールします。

メモ　この手順は、《設定用パソコン》（AirStation を設定するパソコン）にのみおこなってください。全てのパソコンにインストールする必要はありません。

1　「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⚠注意　AIRCONNECT シリーズドライバ CD は、必ずバージョン 1.50 以降の最新のものを使用してください。

⚠注意　「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に簡単導入ウィザードの画面が表示されることがあります。表示されたときは、手順 4 に進んでください。

2　デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3　CD-ROM のアイコン（）をダブルクリックします。

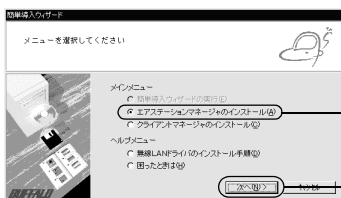
4

「エアステーションマネージャのインストール」を選択します。

［次へ］をクリックします。

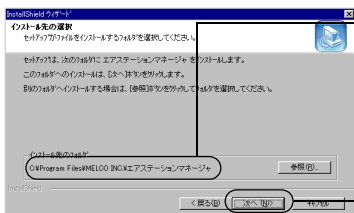
5

［次へ］をクリックします。

6

エアステーションマネージャのインストール先を確認します。

インストール先を変更したいときは、［参照］ボタンをクリックして、新しいインストール先を入力してから、［次へ］をクリックします。

［次へ］をクリックします。

7

1 確認　インストールするコンポーネントで「エアステーションマネージャ」がチェックされていることを確認します。

2 クリック　[次へ] をクリックします。

8

1 確認　表示されたコンポーネントを確認します。

2 クリック　[次へ] をクリックします。ファイルのコピーが始まります。

9

1 クリック　[完了] をクリックします。

これで、エアステーションマネージャのインストールは完了です。

■ エアステーションマネージャのアンインストール手順

1 [スタート] ー [設定] ー [コントロールパネル] を開きます。

2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

3 「エアステーションマネージャ」を選択して、[追加と削除] ボタンをクリックします。(Windows2000 の場合は、「変更／削除」)

4 「削除」を選択して、[次へ] をクリックします。

5 「選択したアプリケーション、およびすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されるので、[OK] をクリックします。

6 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

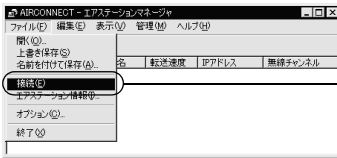
Step 4 AirStation の設定をする

AirStation の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続するための設定をおこないます。

- ネットワークに接続するための設定画面を表示するには、WEB ブラウザが必要です。あらかじめ、インストールしておいてください。Windows2000 の場合は、WEB ブラウザが標準でインストールされています。
- AirStation の設定を無線 LAN パソコンからおこなう場合は、必ず弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンから設定をおこなってください。

1 ［スタート］－［プログラム］－［エアステーションユーティリティ］－［エアステーションマネージャ］を選択します。

2

［ファイル］－［接続］を選択します。

有線 LAN 上のパソコンをお使いのときは、［編集］－［エアステーション検索］をおこなった後、手順 5 へ進みます。

3

以下の値を入力します。

MAC アドレス：
AirStation の有線側の MAC アドレス下 6 桁の値を入力します。
グループ名：
「GROUP」を入力します。（出荷時設定）

［OK］をクリックします。

MAC アドレス はAirStation本体に貼り付けられているシールに記載されている12桁の値です。

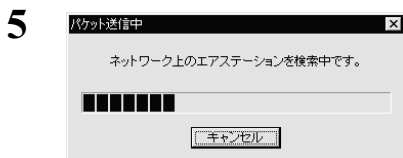
MAC アドレスの上 6 桁は“004026”で固定ですので、ここでは下 6 桁の値を入力します。

AirStation の MAC アドレスについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5 各部の名称とはたらき」を参照してください。

4

「暗号化のキー」欄は空欄のまま（出荷時設定）にします。

［OK］をクリックします。

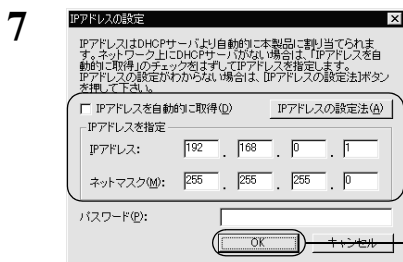
5

AirStation の検索が開始されます。

6

1 選択　検索された AirStation を選択します。

2 選択　［管理］－［IP アドレス設定］を選択します。

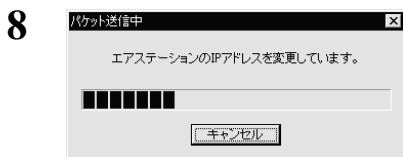
「エアステーションが見つかりません」と表示されたときは、「第 5 章　困ったときは」の「エアステーションマネージャで検索をしても「AirStation が見つかりません」と表示される」(P145) を参照してください。

7

1 入力　以下の設定をします。

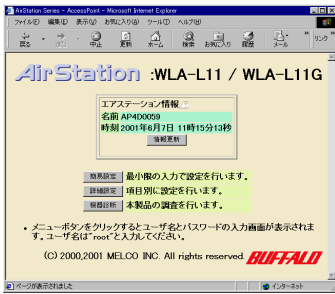
IP アドレスを自動的に取得：　チェックしません
IP アドレス：　192.168.0 .1
ネットマスク：　255.255.255.0
パスワード：　空欄

2 クリック　[OK] をクリックします。

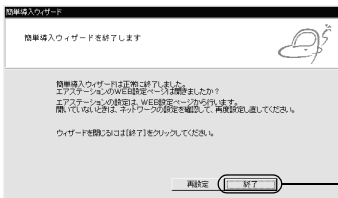
すでに TCP/IP プロトコルで LAN が構築されているときは、同一のネットワークアドレスの IP アドレスを設定してください。わからないときは、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

8

AirStation の IP アドレスが変更されます。

⇒ 次ページへ続く

9

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 5 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」(P146) を参照して、WEB ブラウザの設定を確認してください。

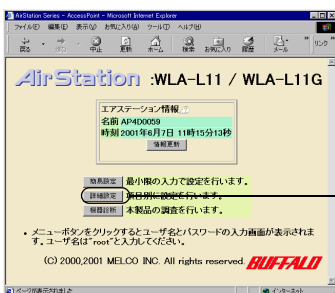
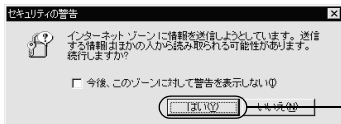
10

設定画面が表示されたら、「簡単導入ウィザード」画面の［終了］をクリックします。
画面が閉じます。

以上で AirStation との通信が可能になりましたが、この状態ではセキュリティ機能が働いていないため外部から不正に侵入される危険があります。そのため以下の手順で通信の暗号化 (WEP) の設定をおこなってください。

⚠注意
- WEP (暗号化) 機能を使って AirStation と通信できる無線 LAN 製品は、Wi-Fi 認定済みのものに限ります。
- WEP を設定した場合は、弊社製 2M 無線 LAN カード (WLI-PCM) や Macintosh※と通信することができません。
  ※AirMac の WEP 機能とは互換性がありません。

11

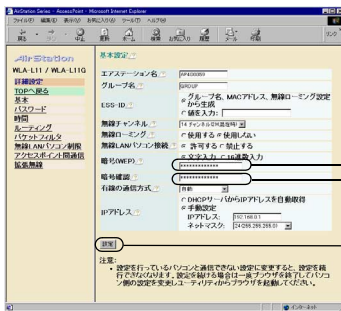
［詳細設定］をクリックします。

12

この画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

Netscape Navigator をお使いの場合は、「そちらから送信される情報は保護されません。」というメッセージが表示されます。
[OK] をクリックして続行します。

13

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。
以下のとおり入力します。
ユーザー名 ：「root」を入力します。
パスワード ：空欄 のままにします。
[OK] をクリックします。

14

[暗号（WEP）] 欄に暗号キーを入力します。

[暗号確認] 欄にも再度同じ文字列を入力します。

[設定] ボタンをクリックします。

暗号キーは「文字入力」（5 文字または 13 文字）と「16 進数入力」（10 桁または 26 桁）を選択することができます。文字入力を選択した場合、暗号キーは半角英数字またはアンダーバー"_" を含む 5 文字または 13 文字の文字列で入力してください。

メモ　暗号キーは 13 文字（文字入力の場合）を入力した方がより高いセキュリティを確保することができます。（128 ビット WEP）

15

「設定を完了しました」と表示されます。ブラウザを閉じます。

⚠注意　無線 LAN パソコンから WEP（暗号化）機能を設定すると、AirStation に接続できなくなります。次の手順で AirStation に接続してください。

16

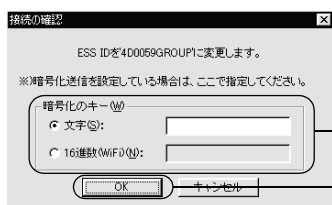
[スタート] ― [プログラム] ― [エアステーションユーティリティ] ― [エアステーションマネージャ] を選択します。

⇒ 次ページへ続く

17 ［ファイル］－［接続］を選択します。

18

「MAC アドレス」「グループ名」を以下のように入力します。

「MAC アドレス」欄：
AirStation の有線側の MAC アドレスの下６桁を入力します。

「グループ名」欄：
"GROUP"（大文字）

［OK］をクリックします

AirStation の MAC アドレスについては、別紙「ご使用の前に必ずお読みください」の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

19

手順 14 で設定した暗号（WEP）を入力します。

［OK］をクリックします

以上で、設定は完了です。

すべての無線 LAN パソコンから、AirStation に接続できることを確認してください。

4.2 無線 LAN を使えるようにします

≪設定用パソコン≫を含めたすべての無線 LAN パソコンに、以下の設定をおこなってください。

なお、AirStation に接続して無線 LAN として使うための設定情報を、≪設定用パソコン≫で作成することができます。この情報を他のパソコンにコピーすると、簡単に無線 LAN パソコンは AirStation と接続できます。この手順については「Step 8　無線 LAN を使うパソコンから AirStation へ接続する」(P137) で説明しています。

Step 5 無線 LAN を使うパソコンに無線 LAN カードのドライバをインストールする

AirStation に添付の「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使用して、《設定用パソコン》以外のパソコンにも無線 LAN カードのドライバをインストールします。

「4.1　AirStation を使えるようにします」の「Step 1　設定用パソコンに LAN ボード／カードのドライバをインストールする」(P97) を参照して、無線 LAN カードをインストールしてください。

すでに無線 LAN カードのドライバがインストール済みの場合は、「Step 6　無線 LAN を使うパソコンにネットワークへ接続するための設定をする (TCP/IP の設定)」(P128) へ進んでください。

メモ　バスアダプタ（WLI-ISA-OP または WLI-PCI-OP）をお使いの方へ

無線 LAN カード（WLI-PCM-L11G 等）を取り付ける前に、WLI-ISA-OP または WLI-PCI-OP（以後バスアダプタと表記）の取り付けとバスアダプタのドライバをインストールする必要があります。
インストール手順は、バスアダプタに添付のマニュアルを参照してください。

Step 6 無線LANを使うパソコンにネットワークへ接続するための設定をする（TCP/IPの設定）

⚠注意 ネットワークの設定手順は、Windows2000 と WindowsNT4.0 では異なりますので、ご注意ください。

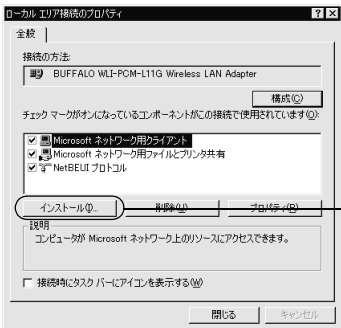
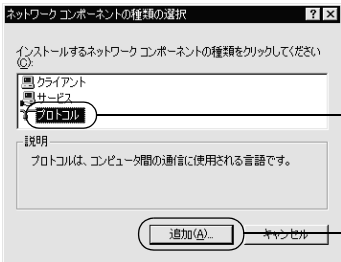
■ Windows2000：TCP/IPの設定

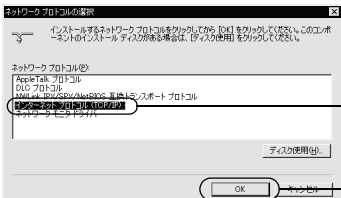
1 Windows2000を起動します。
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

3 「ローカルエリア接続」アイコンをダブルクリックします。

4

［プロパティ］をクリックします。

5

1 確認 無線LANカードのドライバが表示されていることを確認します。

2 確認 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されていることを確認します。

⚠注意　無線 LAN カードのドライバが表示されないときは、ドライバが正常にインストールされていることを確認してください。
「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が表示されないときは、次の手順をおこなって、インターネットプロトコル（TCP/IP）を追加してください。

1　[インストール]をクリックします。

2　[プロトコル]を選択します。

[追加]をクリックします。

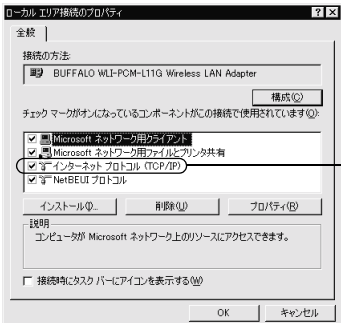
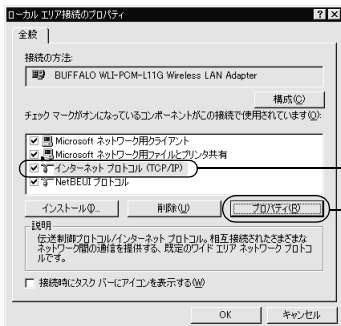
3　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。

[OK] をクリックします。

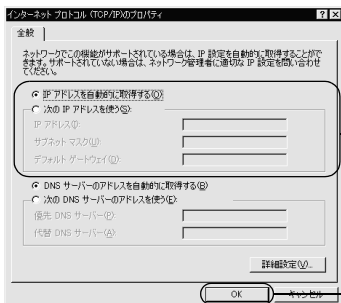
4　「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が追加されていることを確認します。

⇒ 次ページへ続く

4
Windows2000/NT4.0編

6

1 選択 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択します。

2 クリック ［プロパティ］をクリックします。

7

1 選択 IP アドレスを入力します。

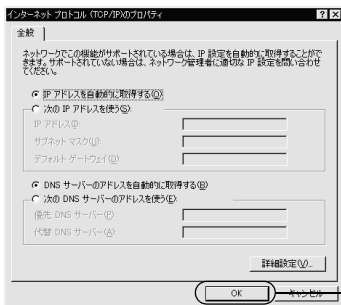
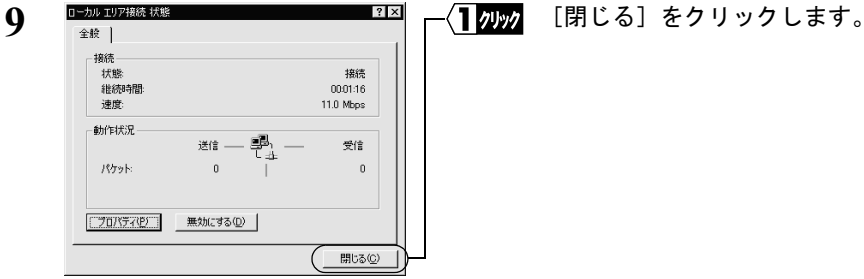
2 クリック ［OK］をクリックします。

・ネットワーク内に DHCP サーバが存在するときは、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。

・IP アドレスの設定については、「第 5 章　困ったときは」の「IP アドレスの割り振りかたがわからない」（P163）を参照してください。

8

1 クリック ［OK］をクリックします。

9

［閉じる］をクリックします。

これで、無線 LAN を使う Windows2000 パソコンの TCP/IP の設定は完了です。

■ WindowsNT4.0：TCP/IP の設定

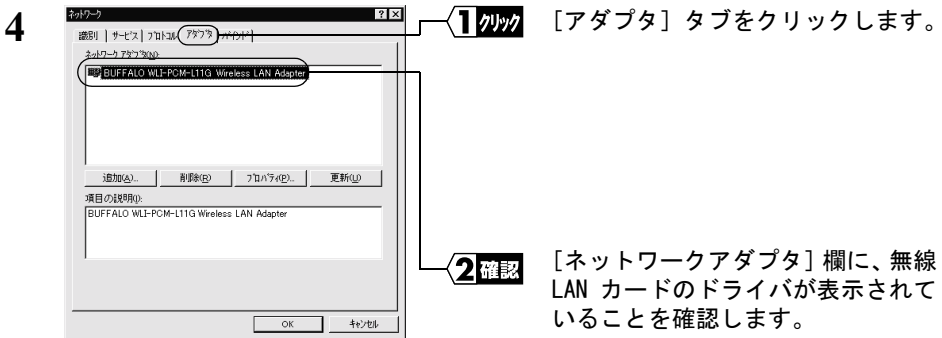
1 WindowsNT4.0 を起動します。
アドミニストレータ権限のあるログイン名（Administrator 等）でログインします。

2 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

3 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

4

［アダプタ］タブをクリックします。

［ネットワークアダプタ］欄に、無線 LAN カードのドライバが表示されていることを確認します。

⚠注意 無線 LAN カードドライバが表示されていないときは、「Step 1 -3 WindowsNT4.0: 無線 LAN カードのドライバをインストールする」（P107）を参照して、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。

⇒ 次ページへ続く

5

1 ［プロトコル］タブをクリックします。

2 ［ネットワークプロトコル］欄に、「TCP/IP プロトコル」が表示されていることを確認します。

⚠注意 「TCP/IP プロトコル」が表示されないときは、次の手順をおこなって、TCP/IP プロトコルを追加してください。

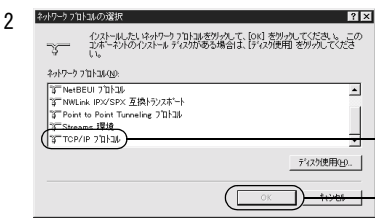
1

1 ［追加］をクリックします。

2

1 「TCP/IP プロトコル」を選択します。

2 ［OK］をクリックします。

3

1 「TCP/IP プロトコル」が追加されていることを確認します。

6

「TCP/IP プロトコル」を選択します。

［プロパティ］をクリックします。

7

IP アドレスを入力します。

［OK］をクリックします。

・ネットワーク内にDHCP サーバが存在するときは、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。

・IP アドレスの設定については、「第5章　困ったときは」の「IP アドレスの割り振りかたがわからない」(P163) を参照してください。

8

［はい］をクリックします。

WindowsNT4.0 が再起動されます。

これで、無線 LAN を使う WindowsNT4.0 パソコンの TCP/IP の設定は完了です。

Step 7 無線LANを使うパソコンにクライアントマネージャをインストールする

「クライアントマネージャ」は、無線 LAN パソコンと AirStation を接続するためのツールです。AirStation を使用してネットワークに接続するすべての無線 LAN パソコンに、クライアントマネージャをインストールする必要があります。

以下の手順で、クライアントマネージャをインストールしてください。

⚠注意 すでに「WLI-PCM-L11 Driver Disk」から「クライアントマネージャ」をインストールした方も、以下の手順で再度インストールしてください。

メモ 有線 LAN パソコンにはインストールする必要はありません。

1 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⚠注意 AIRCONNECT シリーズドライバ CD は、必ずバージョン 1.50 以降の最新のものを使用してください。

⚠注意 「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に簡単導入ウィザードの画面が表示されることがあります。表示されたときは、手順 4 に進んでください。

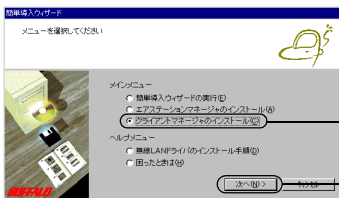
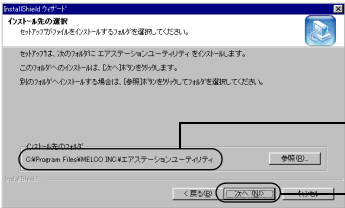
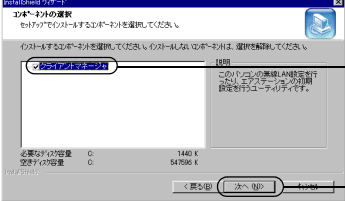
2 デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3 CD-ROM のアイコン（ ）をダブルクリックします。

4

「クライアントマネージャのインストール」を選択します。

［次へ］をクリックします。

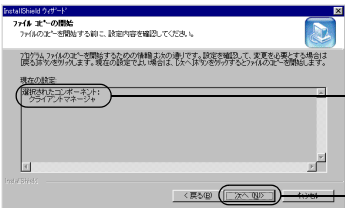
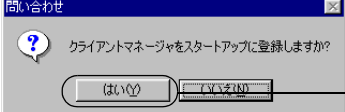
5

［次へ］をクリックします。

6

1 確認 インストール先を確認します。

（インストール先を変更する場合）
［参照］ボタンをクリックしてインストール先を変更します。

2 クリック ［次へ］をクリックします。

7

1 確認 インストールするコンポーネントで「クライアントマネージャ」がチェックされていることを確認します。

2 クリック ［次へ］をクリックします。

8

1 確認 「選択されたコンポーネント」に「クライアントマネージャ」があることを確認します。

2 クリック ［次へ］をクリックします。

9

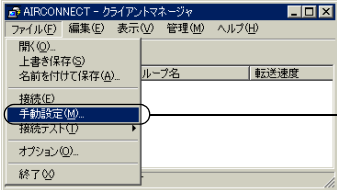
1 クリック ［はい］をクリックします。
クライアントマネージャがスタートアップに登録されます。

スタートアップにクライアントマネージャを登録しない場合は、［いいえ］をクリックしてください。

10

1 クリック ［完了］をクリックします。

これで、クライアントマネージャのインストールは完了です。

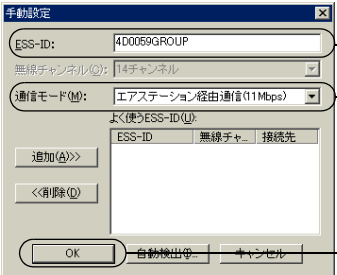
■ クライアントマネージャのアンインストール手順

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を開きます

2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

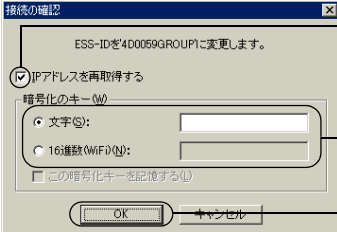
3 「クライアントマネージャ」を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。
（Windows2000 の場合は、「変更／削除」）

4 「削除」を選択して、［次へ］をクリックします

5 「選択したアプリケーション、およびすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されるので、［OK］をクリックします。

6 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

Step 8 無線 LAN を使うパソコンから AirStation へ接続する

《設定用パソコン》は、すでに AirStation への接続ができるようになっています。

２台目以降の無線 LAN パソコンを増設するときは以下の手順で AirStation に接続してください。

1 無線 LAN パソコンで［スタート］－［プログラム］－［エアステーションユーティリティ］－［クライアントマネージャ］を選択します。

2

1 選択 ［ファイル］－［手動設定］を選択します。

3

1 入力 [ESS-ID] 欄に「MAC アドレスの下 6 桁 + "GROUP"(大文字)」を入力します。

2 選択 [通信モード]欄は、「エアステーション経由通信(11Mbps)」を選択します。

3 クリック [OK] をクリックします。

MAC アドレス は AirStation 本体に貼り付けられているシールに記載されている 12 桁の値です。

AirStation の MAC アドレスについては、別紙『ご使用の前に必ずお読みください』の「5　各部の名称とはたらき」を参照してください。

4

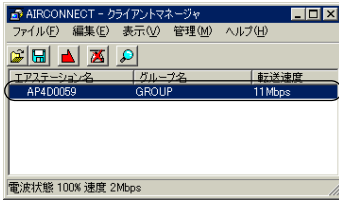
1 選択 AirStation の IP アドレスを再取得する場合にチェックを付ける。

1 確認 暗号（WEP）を入力します。

※１台目のパソコンを設定した方に、暗号（WEP）を確認してください。

2 クリック [OK] をクリックします。

⇒ 次ページへ続く

5

AirStation が黒色で表示されたら、AirStation への接続は完了です。

無線で接続されているAirStationにはアンテナマーク（）が表示されます。

メモ　AirStation が黒で表示されないときは、「第5章　困ったときは」の「クライアントマネージャで AirStation との接続ができない（検索してもグレー表示される）」（P161）を参照してください。

メモ　AirStation への接続後、「転送速度」欄に「2Mbps」など遅い通信速度が表示されることがあります。この場合は、実際に通信をおこなうと正常な通信速度が表示されます。

4.3 ネットワークを使えるようにします

Step 9 ネットワーク通信をします

ここでは、「インターネットへ接続する場合」、「パソコン同士で通信する場合」の 2 つの場合を説明しています。

Step 9 -1 インターネットへ接続する

ネットワーク内のダイヤルアップルータ等でインターネットへ接続するときは、TCP/IP 等の設定が必要です。

お使いのルータやプロバイダの指示に従って設定をしてください。

Step 9 -2 パソコン同士で通信をする

パソコンの共有設定、通信手順等は、Windows2000/NT4.0 に添付さてれいるマニュアルを参照してください。